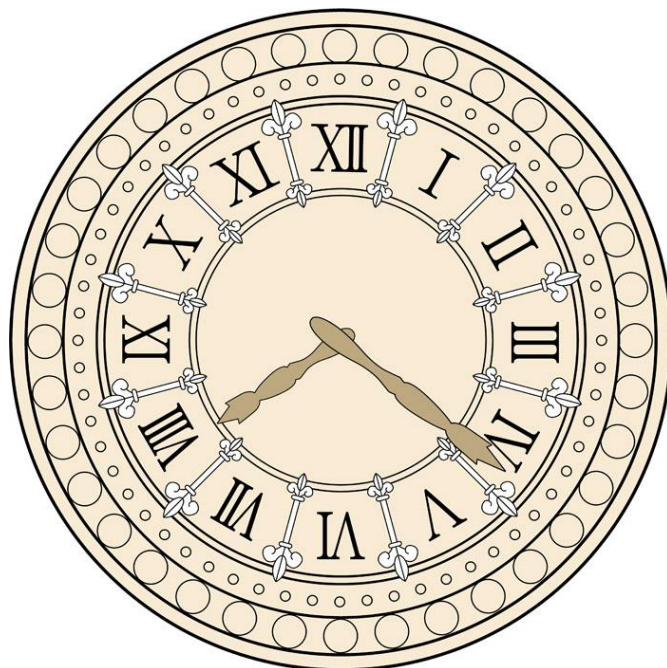


令和5年度[令和6年度入試]

第3回 進路説明会



開会の言葉

- 1 学校長挨拶
- 2 学年主任挨拶
- 3 進路について
 - 志望校決定について
 - 私立・公立高校受験の手続きと今後の進路について
- 4 質疑応答
- 5 その他

令和5年10月3日(火)

場所 酒々井中学校体育館 13:40～14:40

酒々井町立酒々井中学校

目 次

1	志望校決定に向けて・・・・・・・・・・	1
2	私立・公立高校受験(検)の手続きと日程・・	5
3	卒業までの進路日程・・・・・・・・・・	9
4	面接試験について・・・・・・・・・・	10
5	受験期の生活と学習について・・・・・・・・	12
6	就職について・・・・・・・・・・	14
7	高等学校就学支援金制度について・・・・・	16

《 提出書類 》

推薦受験依頼書・・・・・・・・・・	1
進路希望先決定報告書・・・・・・・・	2

《 資 料 》

千葉県公立高校募集定員・・・・・・・・	1
インターネット出願のご案内・・・・・・・・	3
私立高校インターネット出願について・・	5
令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜 マークシート及び記述式問題による学力検査実施について・・	9
諸届出用様式(公立高校)・・・・・・・・	13
志願理由書, 自己申告書, 志願変更願, 希望変更願	

1 志望校決定に向けて

1 志望校決定に際して

志望校の決定は私立高校は11月中、公立高校は冬休み前を目安としてください。公立高校も12月中に決めることで、冬休みから目標に向かって頑張ること、作文や自己表現など、2日目の検査に向けて準備を進めることができます。

また、万が一第1志望校が不合格になってしまった場合に、「仕方なく進学」という気持ちではなく、希望をもって新しい学校生活のスタートをさせるためにも、志望校を検討する際には次のことを十分に検討し決定してください。

- ① 進学の目的、自己の能力・適性、通学時間などを考慮し、家庭で話し合いを深めること。
- ② 私立高校の推薦（第1希望、部活動、自己、併願など）制度を希望する場合には、各制度の趣旨と特徴を十分に理解したうえで検討すること。
- ③ 第2志望以下の学校に関しても、第1志望と同様に検討すること。

2 私立高校の受験について

私立高校は受験する学校数に制限はありません。受験日が重ならない限り、何校でも受験が可能です。また、受験前に高校と中学校で行われる「入試相談」を設けている学校が多く、この相談が必要となっています。入試相談用資料作成にはかなりの時間がかかります。12月の三者（進路）面談で受験校を決定してください。

推薦の基準は以下の通りです。推薦を希望する場合は担任へ申し出てください。また、本校の大前提を満たし、推薦出願をする者は、校長面談を実施します。

推薦に対する本校（酒々井中）の大前提

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ア 推薦を希望する高校の志願理由が明確であること | |
| イ 高校側の定める推薦基準を満たしていること | →入試相談で最終決定 |
| ウ 推薦にふさわしい中学校生活を送っていること | →進路指導委員会で検討後
中学校長が承認する |

《 推薦にふさわしい中学校生活とは 》

- ① 欠席、遅刻、早退が少ない
- ② 校則（ルールや時間、服装など）をきちんと守っている
- ③ 意欲的に学習に取り組んでいる
- ④ 係活動や委員会活動、部活動などに積極的に取り組んでいる

(1) 専願（単願）推薦

第1志望で受験を希望し、本校の大前提を満たした上で、高校が定める基準を満たす場合は専願推薦で受験が可能です。しかし、そのためには、入試相談で高校に受験資格を認めてもらうことが必要です。一般受験よりも優遇されますが、必ずしも合格を保証する制度ではありませんので注意してください。専願推薦で合格した場合には、必ず入学することになります。

※スポーツ（部活動）推薦の場合は、高校進学後も当該部活動を継続することが条件です。

（部活動顧問間での相談も必要です）また、クラブチームにおいても学校間（高校と中学校）での相談が必要ですので、注意してください。

(2) 専願（一般）

受験する高校に推薦制度がない、または推薦条件を満たなくても第1志望で受験できる制度です。入試相談にかけ、併願受験に比べて合格条件が若干優遇されます。合格した場合には、必ず入学することになります。

※公立高校に出願した後に合格が確認された場合には、公立高校の志願を取り消していただきます。（公立高校には「志願取消届」を提出します）

(3) 併願推薦

公立高校や他の私立高校を第1志望とする併願で、本校の大前提を満たした上で、高校の示す基準を満たし、推薦で受験するものです。入試相談で高校に併願推薦を認めてもらうことが必要です。しかし必ずしも合格を保証する制度ではありませんので、注意してください。

また高校によっては、第3志望は不可（第2志望校として、必ず1次手続きを行う）としている場合もあるので、12月の三者（進路）面談では、志望順位を明確にしておく必要があります。なお、合格した場合は入学1次手続きを行い、延納金（2万～5万円）を納めるのが一般的です。

※今年度から併願推薦がなくなったり、昨年度と基準が変わった学校があります。

(4) 併願（一般）

高校で推薦制度がない、または推薦条件を満たなくても、公立高校や他の私立高校を第1希望として受検（験）をし、その私立高校が第2志望以下の場合の受験です。入試相談にかけること、合格基準が若干優遇されることもあります。

「入試相談」について

私立高校と中学校の間で行われます。受験を希望する生徒の「学習成績」「部活動」「出席状況」「生活態度」「特別活動」などの状況をもとに、合格の可能性を相談します。

専願（単願）推薦・併願推薦などの制度を利用して受験する場合には、この入試相談が必要となります。一般受験でも入試相談をすることにより、若干優遇をされることがあります。

書類作成に時間がかかりますので、12月の三者（進路）面談で受験校を決定したいと考えています。

3 公立高校の受検について

公立高校は1校だけ受検が可能です。出願後の倍率発表を確認後、1度に限って志願又は希望の変更が可能です。合格者は合格した高校に必ず進学することが大前提になります。

※志願変更とは、志願した高校を変更したい場合、先の志願を取り消して別の公立高校へ新たに
出願できる制度。

例：A高校に出願したが、倍率が高くなったため、A高校の志願を取り消して、倍率の低いB
高校へ出願し直す。

※希望変更とは、志願した高校の選抜の種類（一般、海外帰国生徒等）、課程（全日制、定時
制、通信制）、学科及び三部制の定時制の課程の部（午前、午後、夜間）を変更したい場合、
先の希望を取り消して新たに希望することができる。

例：A高校の全日制、普通科を第一希望にしていたが、やはりA高校の理数科を第一希望にし
たいため、書類を提出し変更する。（注：同じ高校内のみ）

検査内容

	検査の内容		時間・配点
第 1 日	【学力検査】国語・数学・英語	国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。	国語・数学は 50 分 英語は 60 分 各教科 100 点
第 2 日	【学力検査】理科・社会		各教科 50 分 各教科 100 点
	【各高等学校が定める検査】	各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。	検査の時間等については、各高等学校が定める。

☆マークシート及び記述式問題による学力検査が実施されます。

【各高等学校が定める検査】の各検査の概略

- 面接：学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは一般常識を問う。
- 集団討論：複数の受検者に、同一のテーマを与えて自由に討論させる。
- 自己表現：決められた時間内に、受検者があらかじめ提出したテーマに従って発表する。
- 作文：指示された題名のもとに作成する文章。
- 小論文：ある文章を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等を見る。
- 適性検査：学校・学科の特色に応じて行う実技等の検査で、運動能力に関する検査、各学校が指定する検査等を行う。
- 学校独自問題：高校が独自に作成し、受検者に課す筆記試験。
- その他の検査（集団適性検査）：集団に課題を与えて活動を観察する検査。

検査時間割

第 1 日 2 月 2 0 (火)		第 2 日 2 月 2 1 (水)	
時間		時間	
9:30	集 合	9:30	集 合
9:30～ 9:50	受付・点呼	9:30～ 9:50	受付・点呼
9:50～10:05	注意事項伝達	9:50～10:05	注意事項伝達
10:15	検査室着席完了	10:15	検査室着席完了
10:20～11:10	国 語	10:20～11:10	理 科
11:35	検査室着席完了	11:35	検査室着席完了
11:40～12:30	数 学	11:40～12:30	社 会
12:30～13:15	昼食・休憩	12:30～13:15	昼食・休憩
13:20	検査室着席完了	13:25～	※ 学校設定検査
13:25～14:25	英 語		
14:40～	※学校設定検査 (定時制 3 科受検校のみ)		

選抜方法等

「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」,「学力検査の成績」,「各高等学校において実施した検査の結果」等を資料とし, 各高等学校が総合的に判定して, 入学者の選抜を行うものとする。また, 選抜資料は原則として得点(数値)化するものとし, 各高等学校は, 選抜の手順, 各選抜資料の配点等を定め, 選抜・評価方法において公表する。

学力検査の成績	調査書		第 2 日の 検査の得点	総得点	備考
	調査書の評定	記載事項			
国数英理社 (500 点)	9 教科×5 点×3 学年 (135 点)	□点 各校で定める	△点 各校で定める	◎◎◎点	調査書の評定は, 算式による統一した補正は実施しない

2 私立・公立高校 受験(検)の手続きと日程

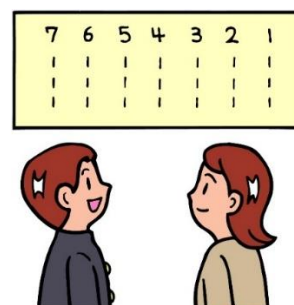
1 私立高校 ※詳細は、必ず高校の「募集要項」で確認してください

(1) 出願書類

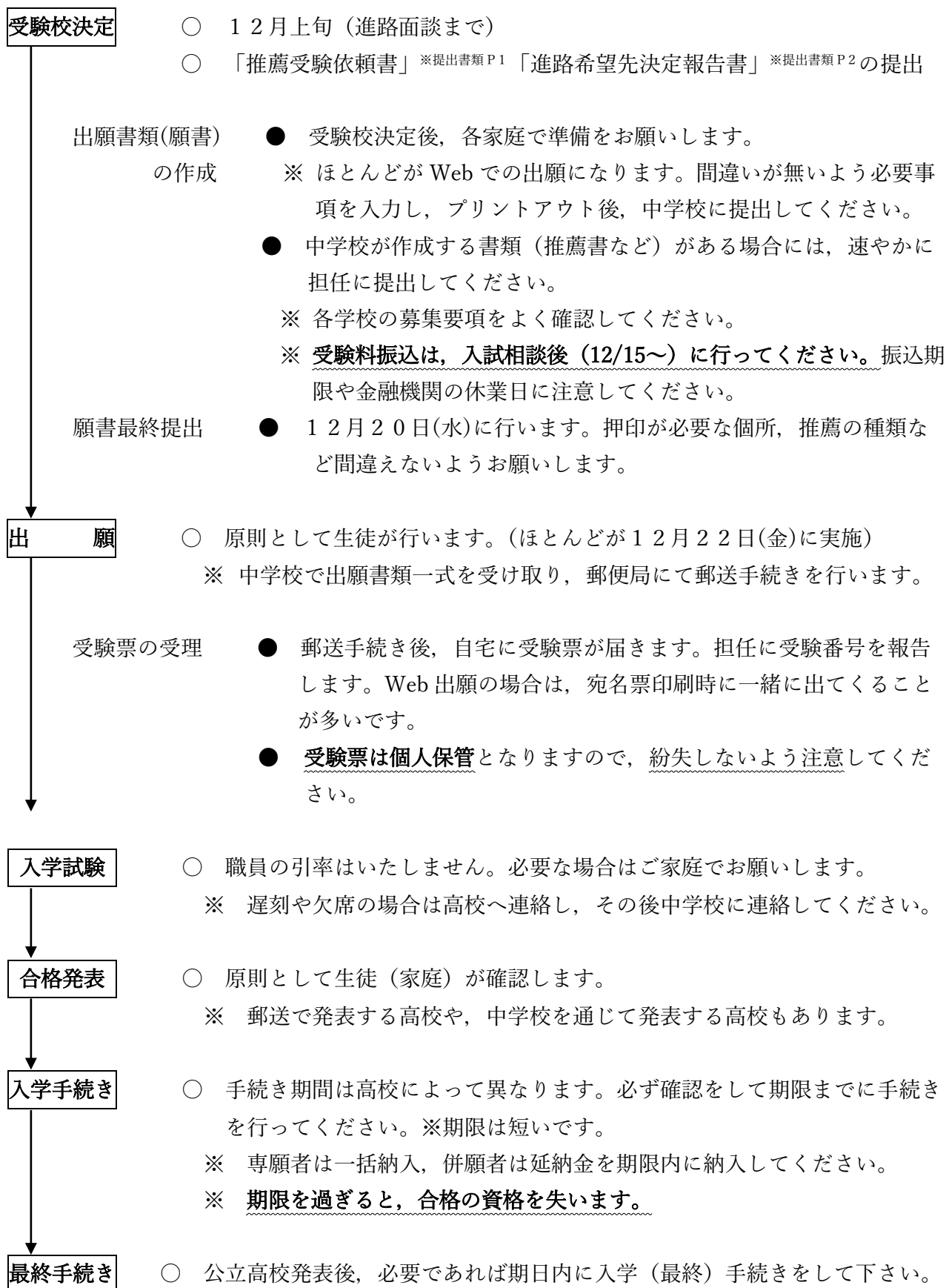
共通	A	願書	○ほとんどが Web からの申込みになります。 ※Web 出願の場合、 <u>入力</u> は保護者の携帯・スマートフォン等で行ってください。その後の手続きの案内等がメールで来るためです。
	B	生徒写真	○大きさや枚数などは高校によって異なります。また直接 Web 画面に貼り付けや写真屋さんにて注文し貼り付ける場合があります。
	C	受験料	○ほとんどが振り込みになっています。 <u>必ず入試相談後に手続き</u> をしてください。
高校別	D	封筒・切手	○指定された大きさ、金額を用意してください。
	E	その他 (高校が指定するもの)	○各種検定取得のコピー ○同窓生卒業(在学)証明書 ○健康診断書 など
中学校作成	F	推薦書	○書類を学級担任に渡してください。
	G	調査書	○出願当日(もしくは前日)にお渡しします。 <u>※開封厳禁</u> です。

(2) 書類の作成と点検→提出

- ① 12月15日からの入試相談の結果を得て、必要書類の作成を行います。それまでに写真などは準備しておいてください。
 - ② 最終点検を終えた願書は中学校で保管し、他の提出書類(返信用封筒、推薦書、調査書など)と一緒にお渡しします。
- ※ Web 出願の場合は、申込内容確認書を印刷して中学校へ提出し、最終確認後、入金手続きに進んでいただきます。
- ③ 12月22日(金)の下校時に、出願書類一式を受け取り郵便局にて郵送手続きを行います。



(3) 手続きなどの日程について



2 公立高校

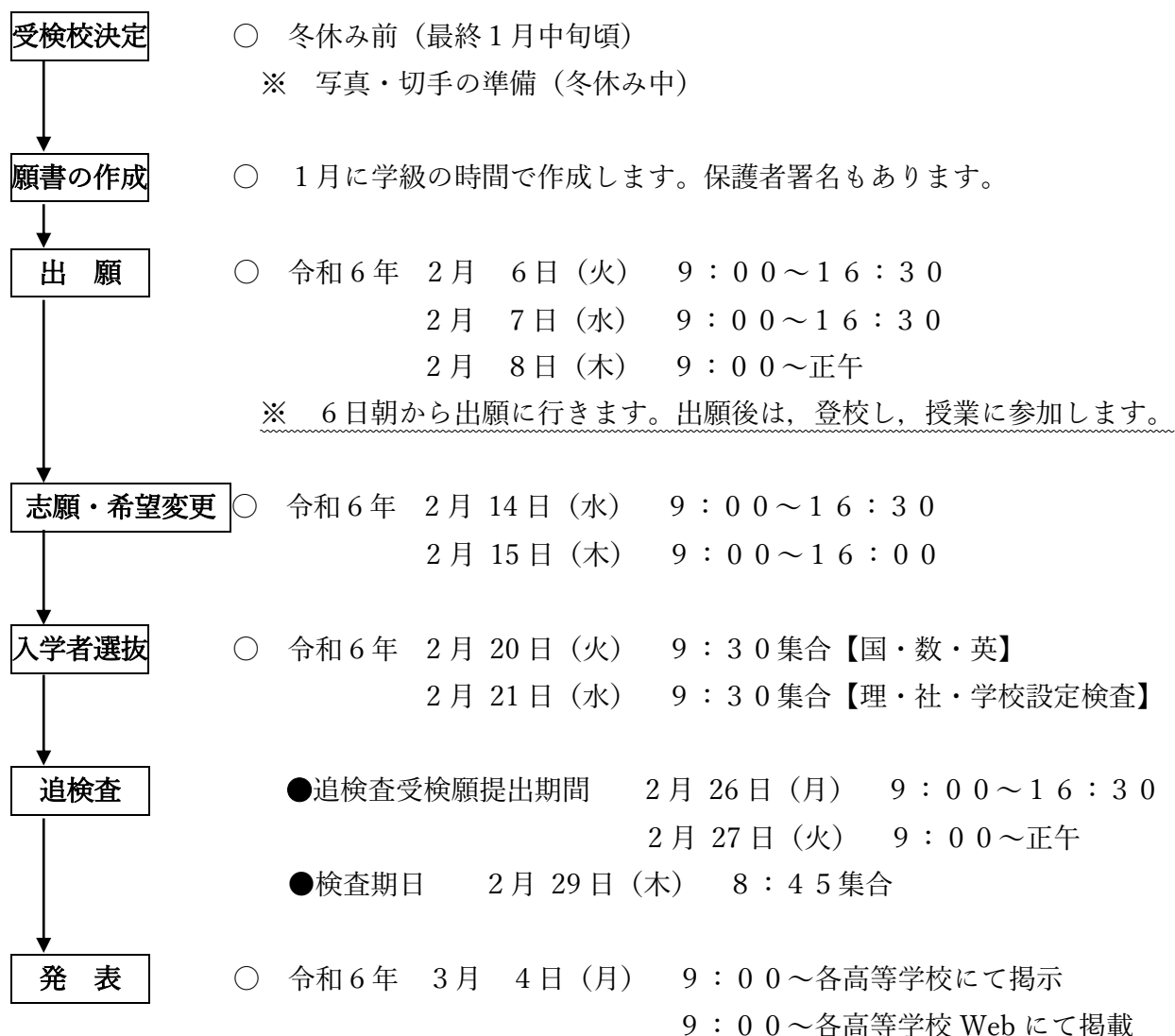
(1) 出願書類

共通	A	入学願書	○中学校で配布します。 ○保護者の署名が必要です。
	B	生徒写真 2枚	○縦4cm×横3cm（カラー・白黒） ○志願変更・希望変更を行う場合さらに2枚必要になります。 ○令和5年12月1日以降に撮影したもので、制服着用です。
	C	入学検査料 （収入証紙）	○県立高校は県収入証紙 全日制 2,200円 定時・通信制 950円 県収入証紙は学校にて一括購入するため、お金を徴収します。 ※インターネット出願をする高校は除く ○市立習志野高校は習志野市の納付書(2200円) ○市立船橋高校は現金で納入(2200円)
	D	返信用封筒	○「長形3号」中学校で準備し、配布します。
	E	84円切手	○返信用封筒に貼付します。
高校による	F	志願理由書	○中学校で配布します。 ※ 必要な学校 幕張総合看護科、薬園台園芸科など
	G	得点に倍率をかける 教科の申告	○中学校で配布します。 ※ 生浜（定時三部制）が必要です。
	H	自己表現申告書	○中学校で用意します。 ○出願時に記入する高校もあります。
添付しても よい	I	自己申告書	○欠席が多い理由、障害があることによって生じる事柄などについて説明したい場合に提出することができます。 ○原則本人が記入し封をしますが、ご心配の場合は担任までご相談ください。
中学校作成	J	調査書	○出願当日（もしくは前日）にお渡しします。 <u>※開封厳禁</u> です。

(2) 書類の作成と点検→提出

- ① 願書と封筒は1月になってから配布します。
B写真, E84円切手は, 冬休み中に準備してください。
- ② 中学校で点検・保管し, 出願前日に生徒に渡します。

(3) 手続きなどの日程について



※ 合格者の登校 午前に登校

※ 不合格者の登校 午後に登校 の予定です。

3 その他

- 県立高等学校12校（千葉、千葉東、船橋、東葛飾、柏、佐倉、佐原、匝瑳、成東、長生、安房、木更津）及び市立高校（千葉、稲毛、柏）はインターネットによる出願になります。
- 携帯電話、スマートフォンは検査室に持ち込まないこと。
- 時計を携帯する場合は時計機能のみのものであること。（会場に時計がない場合が多いです）
- インフルエンザなど法定伝染病への対応は、私・公立によって異なります。公立高校の場合は、別室での受検も困難である等、やむを得ない理由により本検査を全部又は一部受検できなかった場合にのみ追検査を実施できます。出願の際に医師の診断書が必要です。私立高校の場合は、高校によって異なります。中学校にお問い合わせください。

		3 卒業までの進路日程				
月	テスト関係	三者面談など	公立高校	私立高校	各種学校	就職
10	第3回実力テスト(2日) 第2回英語検定(6日) 第2回漢字検定(20日) 第4回実力テスト(23日)	第3回進路説明会(3日) 二者面談(26・27日)	学校説明会	学校説明会		職業相談
11	第2回定期テスト(8日・9日)	二者面談(1日・2日) 進路希望調査③	学校説明会	学校説明会 私立受験校の決定		
12		三者面談(1日～8日)	公立受験校の決定	出願等(1日～) 入試相談(15日～)	入試開始	職場見学
1	第5回実力テスト(10日)	面接・作文練習 必要に応じて 二者・三者面談		前期入試(中旬) 後期入試(下旬)		入社試験
2	県標準学力テスト(13日)	面接・作文練習 必要に応じて 二者・三者面談	出願(6日～8日) 志願・希望変更(14日・15日) 学力検査(20日・21日) ※追検査受付(26日・27日) ※追検査(29日)			入社試験
3		必要に応じて 二者・三者面談	発表(4日) ・二次募集願書提出(7日) ・志願・希望変更(8日) ・学力検査(12日) ・発表(14日)	二次募集		

※日程については変更する場合がありますので、ご了承ください。

4 面接試験について

【面接試験に備えて】

最近では学科試験ではわからない人物そのものを見る「面接試験」が重視される傾向にあります。今では多くの公立高校や私立高校で面接試験が実施されています。学科試験がどんなに良くても、面接で不合格になることがあります。しかし見方を変えれば、「入学して頑張りたい」という意欲や態度を高校にアピールするチャンスでもあります。なぜその高校に入学したいのか、志望理由を明確にするとともに、礼儀作法や言葉遣い、身だしなみなど、普段から気を配って自然に振る舞えるようにしましょう。

1 面接試験のねらい

- (1)学科試験では評価できない本人の性格、健康状態、志望理由、趣味や特技などを把握します。
- (2)本人の生活態度やものの考え方が、学校の教育方針に適応しているかを判断します。

2 面接試験の形式

- (1)個人面接……1人の受験生に対して、1人または複数の面接官で行われます。
- (2)集団面接……受験生3～5名がひとつのグループになり、1人または複数の面接官で行われます。

3 面接のポイント

- (1)熱意・意欲……志望校について（建学の精神、教育方針など）どの程度理解しているか。学校説明会に参加したか。入学したら何をしたいのか。
- (2)態度……きちんとした作法（入室から退室まで）ができるか。中学生らしい服装や髪型であるか。言葉遣いが適切であるか。
- (3)表現力……質問の意味を正しく理解しているか。自分の考えを相手に伝えるようまとめて答えることができるか。答えに困ったときの対応はどうか。
- (4)積極性……進んで自分の意見や考えを発表できるか。自分の良いところを理解してもらおうための努力をしているか。
- (5)協調性……他の受験生の意見を聞き、話し合いや討論をすることができるか。

4 面接試験の内容（質問の例）

- (1)志望校について
 - ・ どうして本校を志望しましたか、その理由を説明してください。
 - ・ 本校に入学したら、どのような学校生活を送りたいですか。
- (2)自分自身について
 - ・ あなたの長所と短所を教えてください。

- ・休日はどうのように過ごしていますか。

(3)中学校生活について

- ・中学校3年間で頑張ったことは何ですか。
- ・遅刻や欠席の回数と理由を教えてください。

(4)勉強について

- ・あなたの得意、不得意教科は何ですか。
- ・最近のことで、どんなニュースに関心がありますか。

5 自己表現・適性検査について

公立高校では「自己表現」や「適性検査」を採用している学校があります。面接試験とは異なり、一定の時間内に自分をアピールしたり、実技を行ったりする試験です。

(1)口頭によるもの。

(2)運動系実技，文化系実技を行うもの。

(3)教科（研究や得意教科の実演や発表）や趣味・特技に関するもの。

※ 実技を行う場合は，入学後その部活動を3年間続けるものとして考えること。

※ 別途提出書類が必要になる場合があります。「自己表現」「適性検査」の内容について，事前に担任にご相談ください。

【これから心がけていきたいこと】

高校の面接官は，何人もの受験生を見ています。ちょっとした言動で，普段から言葉遣いや身だしなみに気を配っている生徒なのか，その場だけの生徒なのかを見分けています。また，試験の合間の休憩時間や控室など，受験生の様子を見ている方もいらっしゃいます。礼儀作法や言葉遣い，場に応じた身だしなみは，大人になっても必要な能力（スキル）です。普段から次のことに気を配って生活していきましょう。

- (1)大きな声や笑顔で挨拶する。
- (2)「～です」「～ます」など，丁寧な言葉遣いを心がけるとともに，正しい敬語が使えるようにする。
- (3)中学生らしい髪型を心がける。
- (4)制服を清潔に正しく着用する。
- (5)上履きが清潔である。（かかとがつぶれていない）
- (6)カバンが清潔である。（落書きをしていない，キーホルダーがたくさんではない）
- (7)歩き方に気を配る。（音をたてない，ポケットに手を入れない）
- (8)立っているときや座っているときの姿勢に気を配る。（足を組む，投げ出さない）
- (9)扉の開閉やものの取り扱いに気を配る。（音をたてない，ものを投げない）
- (10)自分の考えや意見を持ち，はっきりと相手に伝える。

5 受験期の生活と学習について

<保護者の皆様へ>

1 生活について <心理的安定感のある生活を>

(1)話し合いのできる雰囲気づくりを

これからの受験シーズンの中には、様々な壁が待ち受けています。「将来何になりたいのか」「将来の希望をかなえるための進路先はどこか」「勉強の仕方はどうか」などが考えられます。

ご家庭でも、その壁を乗り越えるためにはどうしたらよいかを話し合える雰囲気づくりをしてください。

(2)やる気を伸ばす

進路が具体的に見えてくると、自然と学習の大切さがわかってきて、自分から何とかしようと考えだします。この意欲が大切です。学力も人間としての成長も、他の人の力で無理やり引っ張り出すのは難しいものです。まず進路への目標をもたせ、やる気が見えてきたらそれを誉め、さらにやる気を高めていくようにしたいものです。

(3)自分のことは自分で

必要以上に気を遣って過保護になることは逆効果です。「期待されている」ということが、逆に重荷になってしまうことが考えられます。家族全体が神経質にならないよう、明るい和やかな雰囲気を保ちながら、一番大切な本人の自覚を育てていきましょう。

また、自分で考え、自分で行動するという態度も大切です。「自分の進路は自分で切り拓いていくもの」、積極的な心構えをつけさせたいものです。

(4)健康管理はしっかりと

健康管理は受験期の生活の中でも最も大切な事柄です。特に十分な睡眠と食事は、毎日の生活のリズムを作るもとになるものです。このリズムが崩れると、体力や気力が落ちるだけでなく、風邪などの病気の原因にもなります。

また運動をして汗をかく、音楽を聴く、読書をする、テレビを見る…などの適度な気分転換も、精神的な健康を保つために大切なことです。

<生徒のみなさんへ>

2 学習について <うわべだけの学習ではだめ>

(1) 基礎・基本の徹底

受験というと「受験勉強」が思い浮かびます。がむしゃらに応用問題に手を出して、時間だけが過ぎていき焦りが募るという悪循環になってはいないでしょうか。まずは、3年生で学習する基本的な内容をその都度理解していきましょう。そうしながら夏休みに固めておいた1・2年の基本的な内容を深め、問題集を解くなど実力を養成していきましょう。また、過去の入試問題を解くなど、受験校の入試傾向をつかむことも効果的です。

(2) 中身のある勉強を

よく見られるのが、「勉強しているふり」や「勉強しているつもり」です。何時間も机に向かっていて…それだけで安心していないでしょうか。実は、なかなか集中できずにゲームや漫画を読んだり、机の引き出しを整理したりして、実際にはほとんど勉強していない場合もあります。とりあえず机に向かっていれば親は怒らないという気持ちもあるのでしょうか。大切なのは勉強にかける時間ではなく、どんな勉強をしたかという「勉強の中身」です。もし勉強の中身が薄いようであれば、次の項目を参考に取り組みを見直していきましょう。

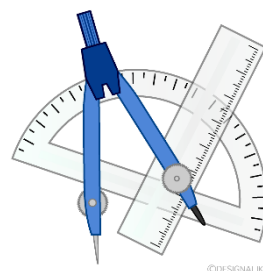
- ① 目標をもって、計画的に勉強していますか。
- ② 不得意教科、苦手分野を避けていませんか。
- ③ 予習・復習をやっていきますか。
- ④ 自分の弱点はわかっていますか。

(3) 授業を大切に

授業の内容は「基礎・基本」です。話をいい加減に聞いていたり、ノートを取らなかったり、「塾で習ったので大丈夫」と過信している生徒も見られます。これでは、自分から学習の能率を悪化させてしまうようなものです。

受験のための「基礎学力」の定着を図り、上級学校へ進んでからの高度な内容の学習についていく力をつけるためにも、あらゆる教科で授業に真剣に取り組むようにしましょう。

- ① 集中して話を聞いていますか。
- ② ノートはきちんととっていますか。
- ③ 宿題や提出物の期限は守っていますか。
- ④ 全教科を大切にしていますか。



6 就職について

1 公共職業安定所（ハローワーク）について

働きたい人が職を求めたり，職を変えたり，失業したときに就職を斡旋してくれるところです。仕事の内容は大きく分けると2つあります。

- ①求職者に就職先を紹介する。
- ②失業保険金を失業者に渡す。

中学校を卒業して就職を希望している生徒に，就職の相談や世話をしてくれるところは，職業指導課の職業指導係です。その内容のあらましは，

(1)事業所に対して

- ①中学卒業就職者にふさわしい求人であるかどうか，いろいろな面から調べます。
- ②できるだけよい職場に就職できるよう，求人条件や職場の改善のための指導をします。

(2)求職者に対して

- ①職安では4月に各学校の就職希望者を調査し，だいたいの希望から方針を立てます。
- ②希望から求人一覧表を作り，各学校に配布します。
- ③就職希望者に職安の係りの方が職業相談を実施します。これは学校の先生，就職希望者とその保護者が十分相談をして，最も適した職場を紹介するための相談です。
- ④希望する職業が決定したら，書類が学校から職安に送られます。職安は書類をまとめて各事業所に送ります。その後この書類をもとに入社選考を行います。

(3)就職後の指導

就職後，就業者が職場に適応できたかどうかを調査し，適切な指導を行います。また，就業者が立派な社会人，就職人となるための指導や助言をします。

(4) その他

職安では，卒業後でも4月までは中卒就業者として，就職先の紹介をしています。5月になってしまうと，一般と同じ扱いになります。

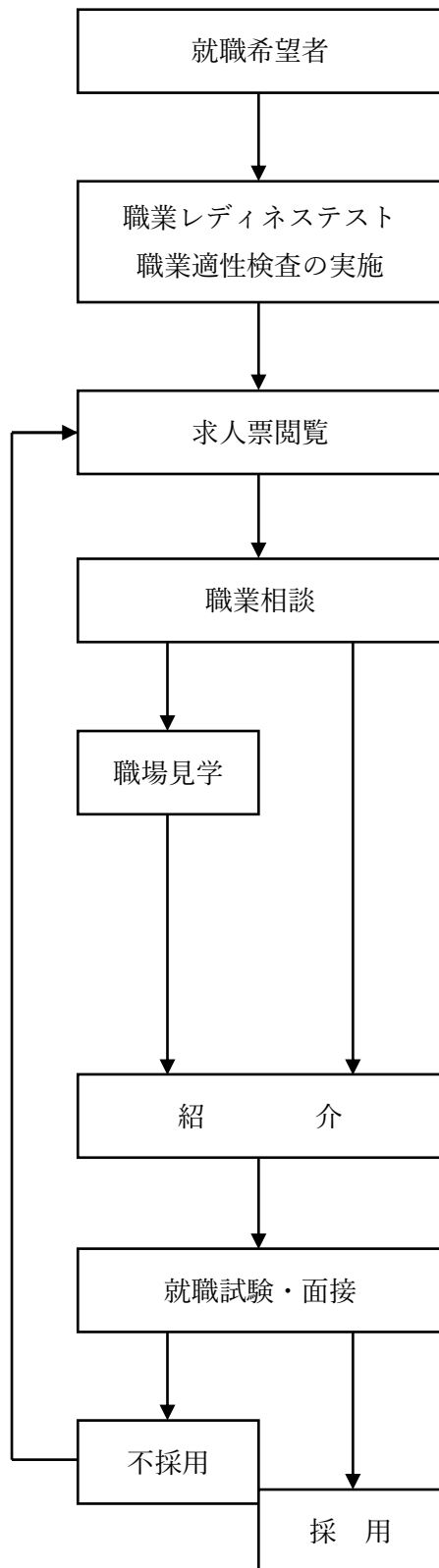
2 職場見学について

見学を通して職場に対する認識を深め，学校では経験できない事業者の実態をつかみ，働くことの意義を，身をもって学習するためのものです。

職場見学の心得としては，

- ①見学中は案内人の指示をよく聞き，勝手な行動をしないこと。
- ②職場では仕事の邪魔にならないようにすること。
- ③その他，個人的に見学を希望するときは，学校を通して職安に連絡し，所定の手続きをしてから実施するほうが望ましい。

3 就職先決定までの流れ



<公共職業安定所の紹介で就職する場合>

三者面談などで意思を確認します。

職業に対する適性を知るために行います。
職業安定所に結果を報告します。

希望者は申し出てください。

本人・保護者・学校担当者・職業安定所職員
との四者面談を原則とする。
相談に関しては職業相談票を作成します。

希望の事業所があれば申し込みます。
12月末までを中心に見学できます。
見学については、本人と保護者、又は本人と
学校担当者で実施します。

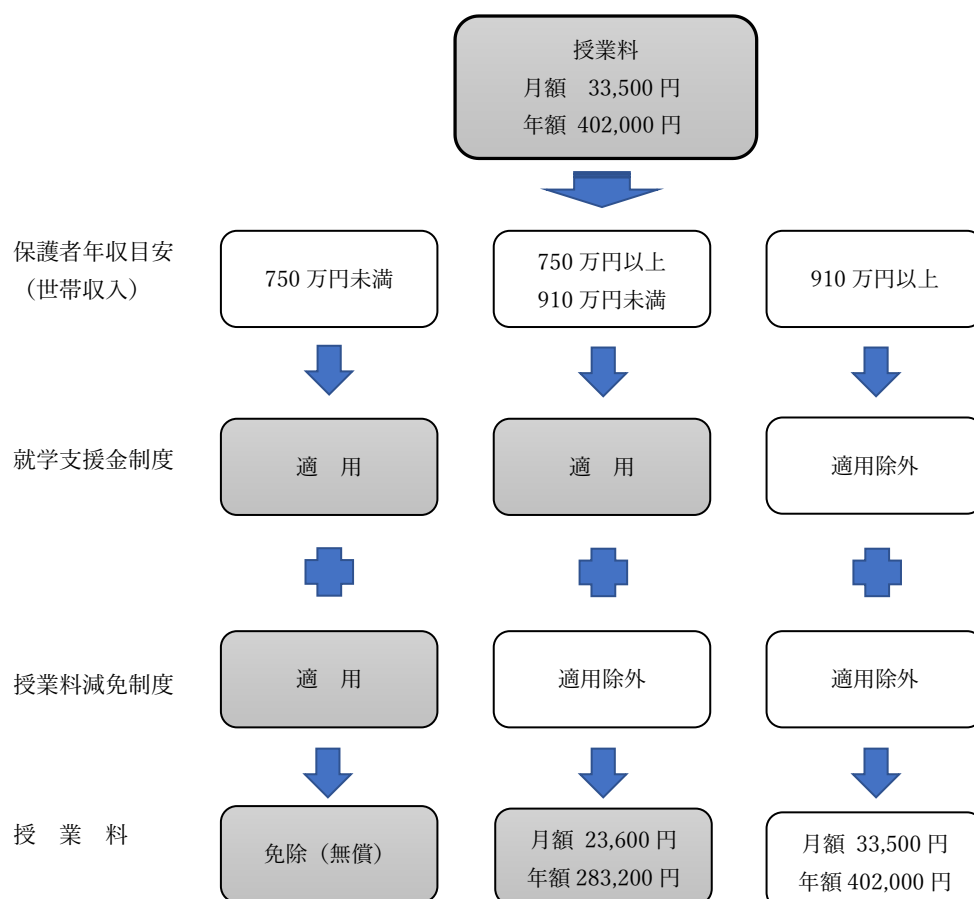
求人一覧表の閲覧及び職業相談、職場見学に
より、応募先が確定したら担任に連絡しま
す。書類作成にあたり、写真を1枚(3cm×
2.5cm)提出してください。

7 高等学校等就学支援金制度について

就学支援金制度、授業料減免制度を活用することで授業料の負担が軽減され、私立高校へいっそう通いやすくなりました。保護者の年収の目安（世帯収入）で約750万円未満であれば、授業料は実質無償化（全額免除）となります。

保護者を対象とした学校説明会でも、各高等学校の事務長が直接対応していただける学校もあるそうです。

千葉黎明高等学校の場合



授業料以外（修学旅行費、教科書代など）の経費として、国から給付（最大 138,000 円）を受けることができる制度もあるそうなので、詳細は各高等学校事務にお問い合わせください。

◇公立高校においても「千葉県公立高等学校等奨学のための給付金」制度があります。詳細は千葉県教育委員会 HP をご確認ください。

◇酒々井町奨学給付金（9 月にプリントを配布しました）やその他奨学生の募集もありますので、何かありましたら、担任までお願いします。

※奨学生予約募集の申し込みに期限があるものもありますので、確認をお願いします。

- ・あしなが高校（高等専門学校）奨学金予約募集（9 月 1 日～12 月 15 日）
- ・千葉県奨学生の予約募集

（提出期限 11 月 17 日。申請書類の準備に時間がかかるため、校内べ切は 10 月 20 日）

提出書類編

○推薦受験依頼書

- ・専願（単願）推薦，併願推薦等の推薦を希望する際，期日までに
必要事項を記入し，担任に提出するものです。（該当者のみ）

○進路希望先決定報告書

- ・三者面談を経て，受験（検）校が決定したら必要事項を記入し，
担任に提出するものです。（全員提出）

推薦受験依頼書

酒々井町立酒々井中学校長 様

令和 年 月 日

令和5年度の私立高等学校・国立高等学校入学試験において、
次の通り推薦受験（自己推薦を除く）を希望します。

高等学校名	学科 コース	受験形態	試験日
(例) ○○高等学校	普通科 特進コース	併願推薦	1 / 17

推薦を希望する理由

<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>

3 年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

進路希望先決定報告書

酒々井町立酒々井中学校長 様

令和 年 月 日

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

○ 就職を希望します

希望職種・名称	.
---------	---

○ 進学（国立・公立・私立・専門・専修学校）を希望します

希望順位	学校名	課程	学科 コース	受検 受験形態	試験日	発表日
第1希望		全・定・通				
第2希望		全・定・通				
第3希望		全・定・通				
第4希望		全・定・通				

上記のように受検(受験)校が決定しましたので、報告いたします。

※ 公立，私立を問わず，希望の高い順に記入してください。

※ 公立高校の受検形態は，「一般」「海外帰国」「外国人特別」を記入してください。

※ 私立高校の受験形態は，「単願推薦（スポーツ推薦含む）」「併願推薦」「単願」「併願」を記入してください。

資料編



※諸届出用紙は、学校で正式なものを発行します。こちらは、使用できません。

令和6年度 千葉県公立高等学校第1学年生徒募集定員

NO. 1

県立全日制

学校名	学科名	募集定員
○千葉	普通	320
*千葉女子	普通	240
	家政	40
千葉東	普通	320
千葉商業	☆商業	240
	☆情報処理	80
京葉工業	機械	80
	電子工業	80
	設備システム	40
	建設	40
千葉工業	電子機械	80
	電気	40
	情報技術	40
	工業化学	40
	理数工学	40
千葉南	普通	320
検見川	普通	320
千葉北	普通	320
若松	普通	320
千城台	普通	320
生浜	普通	80
磯辺	普通	320
□泉	普通	160
幕張総合	総合	680
	看護	40
柏井	普通	240
土気	普通	280
千葉西	普通	320
懐橋	普通	240
八千代	普通	240
	家政	40
	体育	40
八千代東	普通	280
八千代西	普通	200
津田沼	普通	320
実籾	普通	320
船橋	普通	320
	理数	40
栗園台	普通	280
	園芸	40
船橋東	普通	320
船橋啓明	普通	320
船橋芝山	普通	320
船橋二和	普通	280
□船橋古和釜	普通	240
船橋法典	普通	240
船橋豊富	普通	160
船橋北	普通	200
市川工業	機械	80
	電気	80
	建築	40
	インテリア	40

学校名	学科名	募集定員
国府台	普通	320
国分	普通	320
□行徳	普通	160
市川東	普通	320
市川昂	普通	320
市川南	普通	280
浦安	普通	200
浦安南	普通	160
鎌ヶ谷	普通	320
鎌ヶ谷西	普通	200
松戸	普通	200
	芸術	40
小金	総合	320
松戸国際	普通	200
	国際教養	120
松戸六実	普通	320
松戸向陽	普通	200
	福祉教養	40
松戸馬橋	普通	320
○東葛飾	普通	320
柏	普通	280
	理数	40
柏南	普通	360
柏陵	普通	320
柏の葉	普通	240
	情報理数	40
柏中央	普通	320
沼南	普通	160
沼南高柳	普通	240
流山	園芸	120
	☆商業	40
	☆情報処理	40
流山おおたかの森	普通	320
	国際コミュニケーション	40
流山南	普通	280
□流山北	普通	240
野田中央	普通	320
清水	食品科学	40
	☆機械	40
	☆電気	40
	☆環境化学	40
関宿	普通	120
我孫子	普通	320
我孫子東	普通	240
白井	普通	240
印旛明誠	普通	200
成田西陵	園芸	80
	土木造園	40
	食品科学	40
	情報処理	40
成田国際	普通	200
	国際	120

学校名	学科名	募集定員
成田北	普通	280
下総	園芸	40
	自動車	40
	情報処理	40
富里	普通	200
佐倉	普通	280
	理数	40
佐倉東	普通	160
	調理国際	40
	服飾デザイン	40
佐倉西	普通	160
八街	総合	160
四街道	普通	320
四街道北	普通	240
佐原	普通	240
	理数	40
佐原白楊	普通	200
小見川	普通	160
多古	普通	80
	園芸	40
銚子	普通	160
銚子商業	☆商業	160
	☆情報処理	40
	海洋	40
旭農業	畜産	40
	園芸	40
	食品科学	40
東総工業	電子機械	40
	電気	40
	情報技術	40
	建設	40
匝瑳	総合	240
松尾	普通	120
成東	☆普通	200
	☆理数	40
東金	普通	160
	国際教養	40
東金商業	☆商業	80
	☆情報処理	40
大網	普通	40
	農業	40
	食品科学	40
	生物学	40
九十九里	普通	120
長生	☆普通	240
	☆理数	40
茂原	普通	160

学校名	学科名	募集 定員
茂原樟陽	農業	40
	食品科学	40
	土木造園	40
	電子機械	40
	電気	40
一宮商業	環境化学	40
	☆商業	120
大多喜	☆情報処理	40
	普通	160
大原	総合	160
長狭	普通	160
安房拓心	総合	160
安房	普通	240
館山総合	工業	40
	商業	40
	海洋	40
	家政	40
ㇿ天羽	普通	120
君津商業	☆商業	160
	☆情報処理	40
木更津	普通	280
	理数	40
*木更津東	普通	120
	家政	40
君津	普通	240
	園芸	40
君津青葉	総合	120
	普通	240
袖ヶ浦	情報コミュニケーション	40
ㇿ市原	普通	80
	園芸	40
京葉	普通	120
市原緑	普通	120
姉崎	普通	160
市原八幡	普通	200
県立全日制6年度募集定員		28,760
(5年度募集定員)		29,000
増減		-240

市立全日制

学校名	学科名	募集 定員
市立千葉	普通	280
	理数	40
□市立稲毛	普通	120
	国際教養	40
市立習志野	普通	240
	商業	80
市立船橋	普通	240
	商業	80
	体育	80
市立松戸	普通	280
	国際人文	40
市立柏	普通	280
	スポーツ科学	40
市立銚子	☆普通	200
	☆理数	40
市立全日制6年度募集定員		2,080
(5年度募集定員)		2,120
増減		-40

県立定時制

学校名	学科名・部名	募集 定員
千葉商業	商業	40
千葉工業	工業	40
#生浜	普通・午前部	80
	普通・午後部	80
	普通・夜間部	80
船橋	総合	120
市川工業	工業	40
#松戸南	普通・午前部	120
	普通・午後部	120
	普通・夜間部	80
東葛飾	普通	80
#佐倉南	普通・午前部	80
	普通・午後部	80
	普通・夜間部	40
佐原	普通	40
銚子商業	商業	40
匝瑳	普通	40
東金	普通	40
長生	普通	40
長狭	普通	40
館山総合	普通	40
木更津東	普通	40
県立定時制6年度募集定員		1,400
(5年度募集定員)		1,440
増減		-40

県立通信制

学校名	学科名	募集 定員
◇千葉大宮	普通	500
県立通信制6年度募集定員		500
(5年度募集定員)		500
増減		0

県立専攻科

学校名		募集 定員
◎ 幕張総合	館山総合	40 10
県立専攻科6年度募集定員 (5年度募集定員)		50 50
増減		0

(注) 1 ○印は、県立千葉中学校及び県立東葛飾中学校からの進学者を含む。

2 *印は、女子のみを募集する学校を示す。

3 ☆印は、くくり募集を行う学校を示す。

(千葉商業高等学校の「商業科」,「情報処理科」,流山高等学校の「商業科」,「情報処理科」,清水高等学校の「機械科」,「電気科」,「環境化学科」,銚子商業高等学校の「商業科」,「情報処理科」,成東高等学校の「普通科」,「理数科」,東金商業高等学校の「商業科」,「情報処理科」,長生高等学校の「普通科」,「理数科」,一宮商業高等学校の「商業科」,「情報処理科」,君津商業高等学校の「商業科」,「情報処理科」,及び市立銚子高等学校の「普通科」,「理数科」)

4 ㇿ印の泉高等学校,船橋古和金高等学校,行徳高等学校,流山北高等学校,天羽高等学校及び市原高等学校は,地域連携アクティブスクールの入学者選抜を行う。
詳細は,令和6年度千葉県公立高等学校入学選抜実施要項参照。

5 ◎印の幕張総合高等学校専攻科は,5年一貫教育のため,新規募集を行わない。

6 #印の生浜高等学校(三部制定時制の課程),松戸南高等学校及び佐倉南高等学校の募集定員は,転入学等の予定人員を含む。

7 #印の生浜高等学校(三部制定時制の課程),松戸南高等学校及び佐倉南高等学校並びに◇印の千葉大宮高等学校は,秋季入学のための選抜を行う。
詳細は,令和6年度千葉県公立高等学校入学選抜実施要項参照。

8 □印の市立稲毛高等学校普通科は,市立稲毛高等学校附属中学校の卒業生分を除く。

インターネット出願の御案内

令和6年度千葉県公立高等学校入学選抜では、県立高校12校（千葉、千葉東、船橋、東葛飾、柏、佐倉、佐原、匝瑳、成東、長生、安房、木更津）及び市立高校3校（千葉、稲毛、柏）の計15校の全日制の課程において、三菱総研DCS株式会社の「miraicompass（ミライコンパス）」を利用したインターネット出願を実施いたします。上記15校の一般入学選抜、海外帰国生徒の特別入学選抜、外国人の特別入学選抜、中国等帰国生徒の特別入学選抜及び第2次募集に出願する場合は、スマートフォン、パソコン、タブレット等を使って、インターネットで願書を作成し出願します。（上記15校に出願する場合は、原則としてインターネット出願で手続きを行うこととします。）

インターネット出願の概要



① 志願者情報の入力

●志願者情報を入力し、中学校で確認してもらう。



② 検査料納付

●クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM等で検査料を納付する。



③ 入学願書を印刷する

●入学願書を自宅のプリンターやコンビニで印刷し、中学校へ提出する。



④ 志願する高校へ郵送する

●中学校から受け取った入学願書や調査書等の必要書類を郵送する。



⑤ 受検票・受理証を印刷する

●自宅のプリンターやコンビニで印刷する。

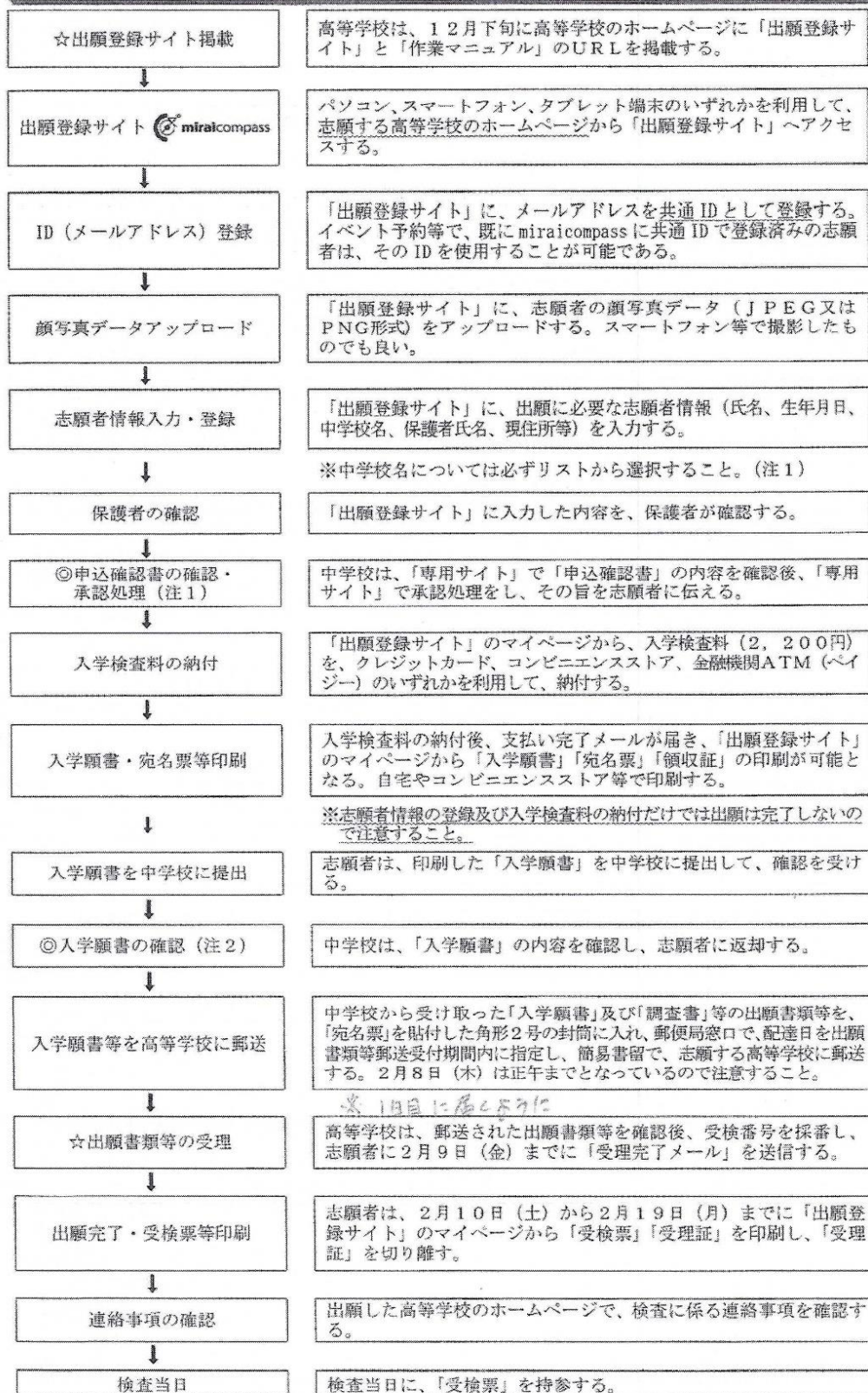


⑥ 受検

●受検票を必ず持参して受検する。

インターネット出願の流れ

☆：高等学校がすること ◎：中学校がすること



【出願登録・納付期間】
令和6年1月16日（火）～2月5日（月）

【出願書類等郵送受付期間】
令和6年2月6日（火）～2月8日（木）正午

（注1）千葉県内の公立中学校及び隣接県協定に係る中学校のみ。

（注2）中学校が「専用サイト」で承認処理をした志願者については、職印の押印は不要。

※志願変更及び第2次募集等の流れについては、10月以降に別途通知します。

私立高校インターネット出願(WEB 出願)について

私立高校のほとんどが、インターネット出願（WEB 出願）となっています。受験する高校の HP（ホームページ）にアクセスし、事前登録から出願までを行います。インターネット出願（WEB 出願）のシステムはほとんどの高校で同じです。募集要項を確認しながら、下記の手順で進めてください。

①ID の取得

②メールアドレスを送信する。

インターネット出願サイトのトップ画面にある、『はじめの方はこちら』ボタンを押し、E-mail 送信画面より、メールアドレスを入力し、メールを送信してください。
※高校説明会等で ID を取得し、共通 ID の場合は、先に進んでください。



③志願者氏名とパスワードを登録する。

ユーザ登録用確認コードが記載されたメールを受信したら、パスワード登録画面から 確認コード・氏名(カナ)・パスワードを入力して、ID を登録します。

共通 ID として登録するかどうか、選択してください。

※共通 ID とは。

miraicompass サイト（イベント予約・資料請求・インターネット出願）にログインする際に、ID 登録手続きをせずにログインできるようになる ID のことです。

個人情報は各学校に申し込む度に入力する必要があります。

※共通 ID で登録してください。

登録後、『パスワード登録完了』画面が出て、『本登録完了』のメールが届いたら、ID 登録は終了です。



④マイページにログインする。

インターネット出願サイトのトップ画面にアクセスし、“メールアドレス”と“パスワード”を入力してログインします。ログインすると『マイページ』が表示されます。

出願後の申し込み内容の確認や、受験票の取得は、このマイページから行っていただきます。

また、1つのメールアドレスで双子など複数名の出願を行う場合も画面右上のメニューから追加登録をしていただく事ができます。



⑤出願を開始する。

新規申込手続を開始する

マイページにある『新規申込手続きへ』ボタンを押し、手続きを開始してください。

入試区分を選択する

出願したい入試区分をプルダウンリストから選択し、次へ進んでください。

入試区分選択

入試区分

選んでください

選んでください

一般入試 (手続期間: 1/8~2/1)

帰国入試 (手続期間: 12/1~1/6)

戻る

次へ

ここを押して選びます

⑥志願者情報を登録する。

受験生・保護者の情報を登録してください。必須と表示されている項目は必ず入力してください。氏名などの漢字に、パソコンで表示できない文字を含む場合は、簡易な字体に置き換えて入力してください。必要な項目への入力が終わったら、画面下部にある『試験選択画面へ』ボタンを押し、次へ進んでください。

志願者情報入力

氏名(漢字) 必須

姓: 例) 山田

名: 例) 太郎

氏名(カナ) 必須

セイ: 例) ヤマダ

メイ: 例) タロウ

外字有無 必須

なし

あり

性別 必須

男

女

生年月日 必須

年

月

日

住所

海外の方はチェック

郵便番号

1234567

住所検索 (半角数字・ハイフンなし7桁)

都道府県

選んでください

⑦試験を選択する。

希望する試験日を選び、必要があれば更にコースや科目などを選んでください。希望の試験を選んだら、『選択』ボタンを押します。同時に複数の試験に出願する場合は、検索→選択を繰り返し行なってください。

試験検索

出願する試験を検索し、画面中段の選択ボタンを押してください。
(同時に複数出願する場合は、繰り返し検索・追加を行ってください)

入試区分

一般入試

試験日

2月1日 午前

選んでください

2月1日 午後

2月2日 午前

2月2日 午後

2月4日

検索された試験

入試区分

試験名

試験日時

入試区分

一般入試

試験日

2月1日 午前

コース・科目

特選コース4科目

検索された試験

入試区分

試験名

試験日時

選択

一般入試

第1回入試午前 特選コース (4科目)

2月1日 午前 08:20

選択

ここを押して選ぶと、

検索結果を表示します

⑧入力内容を確認する。

『保存して中断する』を押して、マイページから内容確認と印刷をしてください。

印刷したら、学校へ持参し、先生のチェックをしてもらいます。

※入試相談前は、ここまでにしてください。入試相談後、二者面談を行って次の段階に進んでいただきます。

【注意】

受験料支払い後は、試験を変更することはできません。万が一間違えた場合は、学校に相談してください。

※受験料を再度支払う可能性があります。

現在選択中の試験

入試区分	試験名	試験日時	選択試験
一般入試	第1回入試午前 特進コース（4科目）	2月1日 午前 08:20	選択試験
一般入試	第2回入試 一般コース	2月2日 08:20	選択試験

申込済試験

入試区分	試験名	試験日時
------	-----	------

お知らせ

※内容の確認・印刷を行う場合は、『保存して中断する』ボタンを押し、マイページから行ってください。
※受験料お支払後は、入試区分・試験を変更することはできませんので、よく確認してください。

戻る お支払い画面へ 保存して中断する

入試相談前までの手続きはここまでのです。
『保存して中断する』を押して、『マイページ』から確認票を印刷して学校に提出してください。

⑨受験料を支払う。※入試相談後、二者面談を行ってから進めてください。

受験料を確認する

試験名、試験日時の下に受験料・検定料が表示されます。お支払いには、別途手数料がかかります。

お支払方法選択後表示される手数料を確認してください。

お支払い方法を選択する

お支払い方法は、クレジットカード、コンビニまたはペイジー（金融機関ATM）からお選びいただけます。

【注意】

ご利用いただけるお支払い方法は店舗・ブランドなど学校により異なります。コンビニ及びペイジー（金融機関ATM）にはお支払い期限がありますので、速やかにお支払いを済ませてください。



試験名・試験日時

入試区分	試験名	試験日時
一般入試	第1回入試午前 特進コース（4科目）	2月1日 午前 08:20
一般入試	第2回入試 一般コース	2月2日 08:20

受験料・検定料 ￥40,000-

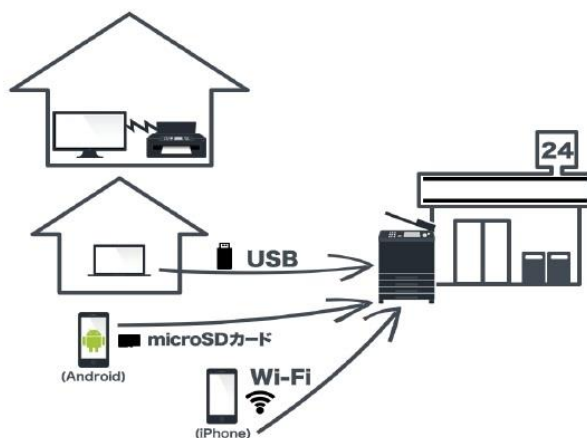
⑩受験票をダウンロードする。

受験料支払い後、マイページより『受験票／確認票』ボタンを押して受験票をダウンロードしてください。



⑪受験票を印刷する。

A4サイズの白い紙に、受験票を印刷してください。ご自宅にプリンターがない場合、USB メモリーやマイクロ SD カードなどの媒体を経由して、コンビニのマルチコピー機から印刷が可能です。操作が不安な方は、出願する学校にご相談してください。



⑫宛名状を封筒に貼る。

受験票と一緒に印刷される宛名状には、出願する学校の住所、学校名が印字されています。調査書や成績表などの提出が必要な場合もあります。募集要項をよく読み、手続き方法を確認しながら宛名状を受験票から切り離し、封筒（各自で茶色封筒を用意）に貼って学校へ提出してください。

学校ごとに封筒のサイズが異なりますので、よく確認をしてください。

12月23日（金）終業式の帰りの会で書類を受け取って郵便局で手続きを行ってください。

【注意】受け取った封筒は、開封厳禁です。出願できなくなります。



令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜 マークシート式及び記述式問題による学力検査の実施について

令和5年度に実施する令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜の本検査・追検査において、マークシート式及び記述式問題による学力検査を実施します（学校設定検査の「思考力を問う問題」を含む。）。

マークシート式及び記述式問題の解答用紙の例及び注意事項

下は、英語の解答用紙の例です。マークシート式の解答は、マーク欄をHB又はBの濃さの黒鉛筆（シャープペンシルでも可）で塗りつぶします。なお、解答用紙は裏面を使用することもあります。

令和5年度 本検査 学力検査

英語 解答用紙

氏名

受 検 番 号

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛	㉜
㉝	㉞	㉟	㊱
㊲	㊳	㊴	㊵

解答上の注意事項

- マークシート式で解答する問題は、○ の中を正確に塗りつぶすこと。

良い例	悪い例

- 記述式で解答する問題は、解答欄からはみ出さないように書くこと。
- 答えを直すときには、きれいに消して、消しくずを残さないこと。

マーク式解答部分

1	No. 1	(A)	(B)	(C)	(D)	No. 2	(A)	(B)	(C)	(D)	No. 3	(A)	(B)	(C)	(D)
2	No. 1	(A)	(B)	(C)	(D)	No. 2	(A)	(B)	(C)	(D)					
3	No. 1	(A)	(B)	(C)	(D)	No. 2	(A)	(B)	(C)	(D)					

記述式解答部分

4	No. 1	(1)	t						(2)						
	No. 2	(1)						(2)							

5	(1)		(2)												
	(3)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ
	(4)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ
	(5)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ

6	(1)	
---	-----	--

※ この見本は、令和5年度入学者選抜学力検査の問題を基に作成しています。

○数値を答える形式の解答例

数値を答える場合は、かな符号（あ、い、う、え、…）にあてはまる符号（－）や数値（0～9）を解答欄の例のように塗りつぶします。

- ① $2 + 3 =$ あ の場合、答えは5なので、次のように塗ります。

解答欄の例

あ	－	0	1	2	3	4	●	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ② $5 \times 8 =$ いう の場合、答えは40なので、次のように塗ります。3桁以上も同様です。

い	－	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9
う	－	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ③ $-4 \times 7 =$ えおか の場合、答えは、－28なので、次のように塗ります。

え	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お	－	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
か	－	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9

※ ②と③から、例えば、解答欄が3行の場合、答えは「3桁の数」または「負の数で2桁の数」となります。

- ④ 答えが分数となる場合、分子の数を先に塗り、分母の数を後に塗ります。
 なお、答えに分数が含まれる場合は、それ以上約分できない形で解答します。

例えば、 $\frac{\text{き}}{\text{く}}$ に $\frac{2}{3}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$\frac{4}{6}$ と解答した場合は、正解になりません。

き	－	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
く	－	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

- ⑤ 答えが分数かつ負の数となる場合は、分子に－（マイナス）をつけて解答します。

例えば、 $\frac{\text{けこ}}{\text{さし}}$ に $-\frac{5}{13}$ を解答する場合は、 $\frac{-5}{13}$ とし、次のように塗ります。

け	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	－	0	1	2	3	4	●	6	7	8	9
さ	－	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9
し	－	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

- ⑥ 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数とした形で解答します。

例えば、 $\sqrt{\text{せ}}$ に $4\sqrt{2}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$2\sqrt{8}$ と解答した場合は、正解になりません。

す	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
せ	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

- ⑦ 答えに文字が含まれ、係数を答えるときは次のように解答します。

例えば、 $\text{そ}a - \text{た}b$ に $9a - 6b$ と解答する場合は、次のように塗ります。

そ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
た	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ⑧ 答えが順不同となるとき、例えば、 $x^2 - 5x + 6 = (x - \text{ち})(x - \text{つ})$ の場合、

左辺を因数分解すると、 $(x - 2)(x - 3)$ または $(x - 3)(x - 2)$ となります。

この場合、次の塗り方のどちらも正解となります。

ち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
つ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
つ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

志 願 理 由 書

年 月 日

高等学校長 様

(※受検番号)

中 学 校 名

志願者氏名

保護者氏名

私は、下記により、貴校 の課程 科 (部) への入学を志願します。
記

1 志願の理由 (当該高等学校・学科を志願する動機や理由等について書くこと。)

2 自己アピール (自分について伝えたいことがらを書くこと。)

記入上の注意

- 1 黒のボールペン又は万年筆による志願者の直筆とする。ただし、「1 志願の理由」、「2 自己アピール」の欄については、鉛筆による志願者の直筆でもよい。
- 2 志願する課程名及び学科名を記入する。部については、三部制の定時制の課程を志願する場合に記入すること。それ以外の場合には、斜線 (/) を引くこと。
- 3 「2 自己アピール」の欄については、校内や校外での活動、趣味や特技、資格、受賞などについて書いてもよい。
- 4 ※印の欄は、記入しない。

自 己 申 告 書

年 月 日

高等学校長 様

(※受検番号)

中 学 校 名

志願者氏名

私は、貴校を志願するにあたり、次のことがらについて説明します。

ことがら：
説 明：

保護者氏名

注 意

- 1 ことがらの欄には、「欠席が多い理由」又は「障害があることによって生ずる事柄等」と記入する。
- 2 原則として志願者が記入する。ことがら・説明の欄は、鉛筆で記入してもよい。
なお、特別な事由で保護者が代筆、加筆した場合はその旨を記入する。
- 3 この自己申告書は、志願者の氏名を表記した封筒に入れ、封をした上で、在籍（出身）中学校の校長に提出することを報告した後、志願する高等学校の校長に提出する。
- 4 ※印の欄は、記入しない。

志 願 変 更 願

年 月 日

高等学校長 様

受 検 番 号

志願者氏名

保護者氏名

下記のとおり志願変更をしたいので、貴校への志願の取消しをお願いします。

記

現在の志願先	高等学校	の課程	科
--------	------	-----	---

変更後の志願先	高等学校	の課程	科
---------	------	-----	---

上記のことを了承していますので、お願いします。

中学校長

印

注意 学校教育法施行規則第95条第1号又は第4号に該当する者については、「上記のことを了承していますので、お願いします。」及び中学校長印を削る。

希 望 変 更 願

年 月 日

高等学校長 様

受 検 番 号

志 願 者 氏 名

保 護 者 氏 名

下記のとおり希望変更をしたいので、許可して下さるようお願い
します。

記

	現在の希望	変更後の希望
第 1 希望	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部
第 2 希望	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部
第 3 希望	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部	1 一般入学者選抜 2 ()の特別入学者選抜 の課程 科 部

上記のことを了承していますので、お願いします。

中学校長

印

注意

- 第 1 希望～第 3 希望の欄における選抜の種類については、該当する番号を○で囲む。
なお、特別入学者選抜の場合には、2 の () 内に「海外帰国生徒」、「外国人」、「中国等帰国生徒」、「成人」又は「連携型高等学校」のいずれかを記入すること。
ただし、第 2 次募集の場合には、選抜の種類については何も記入しないこと。
- 記入の必要のない箇所には、斜線 (/) を引くこと。
- 学校教育法施行規則第 9 5 条第 1 号又は第 4 号に該当する者については、「上記のことを了承していますので、お願いします。」及び中学校長印を削る。

メモ欄